

東京都庭園美術館
年報

2015

TOKYO METROPOLITAN TEIEN ART MUSEUM
Annual Report



はじめに

平成 27 年度はリニューアルオープン後、初めて通年で美術館を開館する年となり、整備の終了した芝庭を公開エリアに加え新年度のスタートを切りました。

7 月には旧朝香宮邸が重要文化財に指定され、建物に関する関心もいっそう高まるなか、「マスク展」「アール・デコの邸宅美術館 建築をみる 2015+アール・デコ コレクターズ展」「オットー・クンツリ展」「ガレの庭」と装飾美術を軸にバラエティに富むラインナップで展覧会事業を実施し、年間で 20 万人を超える来館者を迎えることができました。

また、ウェルカムルームを拠点とした教育普及事業、イグニションボックスや庭園美術館コンサートなどパフォーマンスや音楽をプログラムに加え、来館者の幅広い芸術文化への欲求に応える事業を充実させるとともに、年間パスポートの発行や SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の積極的活用、多言語化の推進など広報、サービスの強化をはかり、国内、海外に向け新たな来館者の獲得に努めました。

文化財の保存においては、殿下居間の家具の復刻をはじめ、バルコニータイルの修復など、創建当初の姿を再現すべく修復復原事業に取り組みました。特に香水塔の修復については、多くの関心を集め文化財保存への理解を広めました。

庭園や施設の整備については、平成 29 年度まで工事が継続し行われますが、それらが完了しグランドオープンとなる平成 30 年度を目指し、よりいっそう充実したサービスが提供できるよう準備を進めてまいります。

目次

基本方針	1
------------	---

平成27年度の東京都庭園美術館	2
-----------------------	---

各事業報告

1. 建物・庭園公開事業	3
2. 企画展示事業	7
3. 美術品の購入	18
4. 紀要の発行	19
5. 教育普及	19
6. 施設維持管理等	23
7. 収益事業	28

平成27年度の実績

1. 入館者数	30
2. 広報・広告件数	30
3. 収益事業収入	30
4. 展覧会関連事業	31
5. 出版物	32

その他

展覧会実績一覧	33
施設配置図	38

基本方針

歴史的建造物と美術作品、庭園とが一体となった美術館として、文化財保護に努めるとともに、新しい価値の創造を目指し、以下の基本方針のもと、都民に芸術作品の鑑賞の機会を提供する。このことを通じ、東京都における芸術文化の振興を図り、都民生活の充実に寄与していく。

1. 旧朝香宮邸の適切な管理とその価値の普及

東京都指定有形文化財である旧朝香宮邸の建物と庭園を適正に管理し、美術館活動を通じその価値を広く社会に伝えていく。

2. 建物の特性を活かした美術館活動の実施

アール・デコ様式の歴史的建造物と新館の展示室を効果的に組み合わせ、空間の特性を活かした展覧会や教育普及活動を実施していく。

3. 美術館としての庭園の活用

季節感と歴史的たたずまいを大切にした庭園の鑑賞空間を提供するとともに、美術館活動の場として活用を推進していく。

平成27年度の東京都庭園美術館

平成27年

- | | | |
|-----|-----|---|
| 4月 | 7日 | 「幻想絶佳：アール・デコと古典主義」閉幕 ※平成26年度より継続（1月17日～） |
| | 25日 | 「フランス国立ケ・ブランリ美術館所蔵マスク展」開幕（～6月30日まで） |
| | 25日 | 庭園一部（芝庭）公開開始 |
| | 25日 | 年間パスポート発売開始 |
| | 28日 | 外部評価委員会 |
| 5月 | 24日 | 東京都による日本庭園改修工事（～11月9日まで） |
| 7月 | 8日 | 重要文化財(建造物)指定 |
| | 18日 | 「アール・デコの邸宅美術館 建築をみる 2015+ART DECO COLLECTORS」開幕
（～9月23日まで） |
| | 24日 | 夏季特別夜間開館（～9月18日までの金曜日） |
| 8月 | 7日 | 東京都による茶室改修工事（～28年度） |
| | 26日 | 自衛消防訓練 |
| 9月 | 1日 | エレベーター設置に向けた本館浴室調査（～10月30日まで） |
| | 6日 | 目黒のさんま祭り庭園無料公開 |
| | 21日 | 敬老の日庭園無料公開 |
| 10月 | 1日 | 都民の日庭園無料公開 |
| | 10日 | 「オットー・クンツリ展」開幕（～12月27日まで） |

平成28年

- | | | |
|----|-----|--|
| 1月 | 16日 | 「ガレの庭」開幕（～3月31日まで）※平成28年度へ継続（～4月10日まで） |
| | 27日 | 自衛消防訓練 |
| 3月 | 25日 | 春の夜間開館（～3月26日） |



各事業報告

1. 建物・庭園公開事業

(1) アール・デコの邸宅美術館 建築を見る 2015

※ ART DECO COLLECTORS と同時開催

期間：平成 27 年 7 月 18 日（土）～9 月 23 日（水・祝）[64 日間]

（会期中毎週金曜日 [7/24, 31, 8/7, 14, 21, 28, 9/4, 11, 18] は夜間開館のため午後 9 時まで開館）

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館

年間協賛：戸田建設株式会社

担当：大木香奈、浜崎加織

来館者数：52,321 人

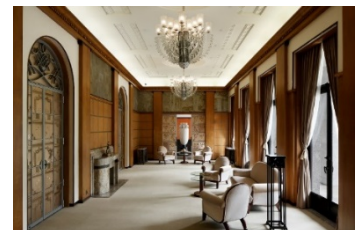


旧朝香宮邸が重要文化財（建造物）に指定されたことを受け、当館所蔵の創建当時の家具や調度品等を用いて、本来の邸宅としての空間の再現を試みた。また、アール・デコの特徴を伝えるため、新収蔵品を含む、収蔵品を展示した。加えて、香水塔や家具等の修復など、建物保全の活動についても紹介を行った。

重要文化財指定記念の講演会や修復に関するイベントを実施し、館内で写真撮影を可能とする日を設けた。また、夏期の夜間開館を毎週金曜日に行った。

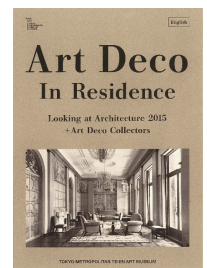
【関連イベント】

- a. 講演会「朝香宮邸をめぐってー過去・現在・未来」
講師：藤森照信（建築史家・建築家）
米山勇（建築史家・江戸東京博物館）
開催日：7 月 25 日（土）
参加人数：116 名
- b. 講演会「“香水塔”の謎：3D 調査報告」
講師：東京藝術大学総合芸術アーカイブセンター
開催日：8 月 29 日（土）
参加人数：35 名
- c. トークイベント「“香水塔”を未来につなぐ：修復家からのメッセージ」
講師：佐野智恵子（修復家）
ファシリテーター：大木香奈
開催日：9 月 13 日（日）
参加人数：43 名



【ハンドアウト（和・英）の制作・発行】

内容：展示プラン、出展作品一覧、コレクター紹介、主な作家紹介、
テキスト「コレクターとアール・デコ」所収
執筆・編集：大木香奈



(2) 旧朝香宮邸資料修復・復原

バルコニータイルや小客室壁画、オリジナルの家具・建具などの修復及び復原を行った。
今回修復・復原を行った家具などは、今後の「建物公開」展で展示するなどしていく。

【修復・復刻】

修復	妃殿下居間バルコニータイルの修復	1件
	ラジエーターカバーの修復	3点
	小客室壁画の修復	1件
復原	殿下居間長椅子の復原	1点
	書斎キャビネット鍵の復原	1件

妃殿下居間バルコニータイル



(修復前)



(修復後)

1933年殿下居間写真



復元した殿下居間長椅子

(3) ミュージアム・コンサート

クラシックのサロンコンサートを実施し、広く当館を知ってもらうきっかけとした。コンサートは毎回、ほぼ満席で、観客からの高評価を得られた。

【実施コンサート】

実施回数計：5回
参加者数計：521人

第1回 松本蘭 ヴァイオリン・リサイタル

開催日：7月5日（日）

開催場所：本館大広間

参加人数：70人

第2回 及川浩治 ピアノ・リサイタル

開催日：8月12日（水）

開催場所：本館大広間

参加人数：107人

第3回 山根一仁 ヴァイオリン・リサイタル

開催日：9月27日（日）

開催場所：本館大広間

参加人数：110人

第4回 外山啓介 ピアノ・リサイタル

開催日：11月11日（水）

開催場所：新館ギャラリー2

参加人数：132人

第5回 藤原真理 チェロ・リサイタル

開催日：1月5日（火）

開催場所：本館大広間

参加人数：102人



(4) 庭園公開

東京都が実施している庭園整備工事が一部完了し、芝庭の公開を開始した。樹木等の管理及び芝生の育成を行い、四季の変化を感じられる庭園公開に努めた。また、都の工事への連携・協力により運営者としての館の意見を反映させ、効果的な照明設備の配置や橋の改修等を行った。

期間：平成27年4月25日（土）～平成28年3月31日（木）（312日間）

夜間開園：展覧会夜間開館と同時開園

- (1) 平成27年7月24日（金）～9月18日（金）までの毎週金曜日（9日間）
（7/24、7/31、8/7、8/14、8/21、8/28、9/4、9/11、9/18）
午後9時まで。
- (2) 平成28年3月25日（金）～3月26日（土）（2日間）
午後8時まで。

庭園のみ入場者数：28,427人

【東京都庭園改修工事への連携・協力】

工事定例会に参加し、以下の工事に連携・協力した。

- 東京都庭園美術館（27）日本庭園改修工事（平成27年5月24日～11月9日）
- 東京都庭園美術館（27）日本庭園電気設備改修工事（平成27年5月24日～11月9日）
- 東京都庭園美術館（27）茶室耐震補強工事（平成27年8月7日～継続中）



2. 企画展示事業

(1) 東京都庭園美術館開館 30 周年記念展

幻想絶佳：アール・デコと古典主義

期間：平成 27 年 4 月 1 日（水）～7 日（日）[7 日間]

※平成 26 年度分：平成 27 年 1 月 17 日（土）～3 月 31 日（火）[69 日間]

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会

後援：在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本、日仏会館フランス事務所

協賛：ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜

協力：AIR FRANCE

年間協力：戸田建設株式会社

担当：関昭郎、浜崎加織、大木香奈、田中雅子

来館者数：7,759 人（27 年度）※平成 26 年度分：52,691 人



リニューアルオープンと 30 周年を記念した、館のテーマであるアール・デコの展覧会を行った。「古典主義」をキーワードとすることで、ピカソやブルデルなど同時代の美術との関連性や、第一次世界大戦と第二次世界大戦のフランスという時代性を浮き彫りにした。

【展覧会カタログ】

所収論文：ドミニク・ジャラセ（ボルドー大学、およびルーヴル学院現代美術史教授）「ローマ賞の「近代派」たち：フランスのアール・デコ様式におけるマニエリスムの一流派」、ブリュノ・ゴディション（アンドレ・ディリジャン芸術・産業博物館「ラ・ピシーヌ」（ルーベ）館長、チーフキュレーター）「アール・デコをめぐって—フランスにおける近年の再解釈に関する二つの事例：ポワティエ美術館とラ・ピシーヌ美術館」、ドミニク・ガニュー（パリ市近代美術館）「文化政策が映し出すもの—両大戦間期パリ国際博覧会と現代精神」、久保昭博（京都大学人文科学研究所助教）「両対戦間期のフランス詩 ジャン・モレアスほか」、関昭郎（当館学芸員）「フランス・アール・デコの古典主義—両大戦間期の現代性と伝統融合の試み」ほか

発行部数：3,000 部

【関連イベント】

なし（※平成 26 年度にすべて実施済。）

(2) フランス国立ケ・ブランリ美術館所蔵

マスク展

期間：平成 27 年 4 月 25 日（土）～6 月 30 日（火）[63 日間]
主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館、朝日新聞社
協賛：フランス国立ケ・ブランリ美術館
後援：在日フランス大使館、アンスティチュ・フランセ東京
協賛：大日本印刷株式会社
協力：エールフランス航空
年間協賛：戸田建設株式会社
担当：神保京子、八巻香澄
来館者数：55,789 人



パリの旧国立考古学博物館、旧アフリカ・オセアニア博物館からのコレクションを引継ぎ、2006 年に開館したフランス国立ケ・ブランリ美術館。本展は、アフリカ、アジア、オセアニア、アメリカから集められたマスク（仮面）をテーマに開催された、日本国内における同館初の大規模なコレクション展となった。それぞれの地域における個性溢れる仮面の数々は、仮面に託された人々の限らない想像力と魅力を提示したとともに、アール・デコ隆盛期の 1930 年代における、パリを中心とする芸術界の異国への関心と影響を検証する機会となった。出品数計 102 点（アフリカ大陸 31 点、アメリカ大陸 22 点、オセアニア 20 点、アジア 29 点）

【展覧会カタログ】

所収論文：イヴ・ル・フェール（フランス国立ケ・ブランリ美術館 文化財・収集部ディレクター／チーフキュレーター）「仮面—精霊たちの美」、川口幸也（立教大学文学部 教授）「仮面を展示する—プリミティヴ・アートは超えられるか」、緒方しらべ（日本学術振興会 特別研究員 PD）「つくり手を訪ねて—現代ナイジェリアの仮面と木彫師」、神保京子（当館学芸員）「革命と異種混淆の修辞学—1920-30 年代の仮面たち」

【関連イベント】

a. 記念シンポジウム

「マスク—精霊の美」

イヴ・ル・フェール（ケ・ブランリ美術館 本館エグゼクティブ・キュレーター）

「美術館という異界—プリミティヴ・アートは超えられるか」

川口幸也（立教大学文学部教授 本展カタログ監修）

開催日：4 月 25 日（土）

会場：新館ギャラリー2

参加人数：120 名

各事業報告

b. 20世紀の映像百科事典

〈エンサイクロペディア・シネマトグラフィカ〉上映会・番外編

ゲスト：関根秀樹（古代技術史・民族文化研究家）

開催日：2015年6月20日（土）

会場：新館ギャラリー2

参加人数：110名

c. レクチャー&デモンストレーション

講師：友枝雄人（能楽師シテ方喜多流）

開催日：2015年5月9日（土） 1回目 13:00～14:30 / 2回目 15:30～17:00

会場：新館ギャラリー2

参加人数計：112名

d. 学芸員によるギャラリートーク

講師：神保京子、八巻香澄

開催日：2015年5月15日（金）、5月29日（金）、6月19日（金） 15:00-

会場：展示室

参加人数計：93名

e. 英語によるギャラリートーク

講師：アリス・ゴードンカー

開催日：2015年6月5日（金） 15:00-

参加人数：20名



（本館大広間）



（本館書斎）

(3) アール・デコの邸宅美術館 ART DECO COLLECTORS

※アール・デコの邸宅美術館 建築を見る 2015 と同時開催

期間：平成 27 年 7 月 18 日（土）～9 月 23 日（水・祝）[64 日間]

（会期中毎週金曜日 [7/24, 31, 8/7, 14, 21, 28, 9/4, 11, 18] は夜間開館のため午後 9 時まで開館）

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館

年間協賛：戸田建設株式会社

担当：大木香奈、浜崎加織

来館者数：52,321 人



アール・デコに魅せられた国内個人コレクターたちに焦点を当て、ポスター、ポショワール、ガラス、銀器、彫刻、家具等多分野に渡る特徴あるコレクションを紹介した。伊勢彦信氏の家具・銀器類コレクション 76 点、大村清一郎氏のルネ・ラリックのガラスコレクション 21 点、松本ルキ氏のポスターほかのコレクション 16 点の個人コレクターならではの特色あるコレクションを主に新館に配置し、アール・デコの多様な広がり一望した。

【関連イベント】

a. 学芸員によるフロア・レクチャー

講師：大木香奈

開催日：7 月 24 日（金）、8 月 14 日（金）、8 月 28 日（金）、9 月 11 日（金）

参加人数計：222 名

b. 英語によるフロア・レクチャー

講師：アリス・ゴードンカー

開催日：9 月 4 日（金）

参加人数：30 名



(4) オットー・クンツリ展

期間：平成 27 年 10 月 10 日（土）-12 月 27 日（日）[73 日間]

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館、東京新聞

協力：ディ・ノイエ・ザムルング-国際デザイン美術館（ドイツ・ミュンヘン）

後援：スイス大使館、ドイツ連邦共和国大使館、東京ドイツ文化センター、スイス・プロ・ヘルヴェティア文化財団

年間協賛：戸田建設株式会社

担当：関昭郎、田中雅子

来場者数：34,492 人



アートとしてのジュエリーを創造するコンテンポラリー・ジュエリーの分野を代表するオットー・クンツリ（1948 年スイス・チューリッヒ生）の回顧展。一般的なジュエリーの概念にとどまらない先鋭性や強いコンセプト、そしてシャープな美しさを備えた 8 つのインスタレーションを含む作品 200 件余りを、東京都庭園美術館の空間を大胆に活用し紹介した。

【展覧会カタログ】

所収論文：オットー・クンツリ「Komainu & Co.」、ペトラ・ホルシャー博士（ディ・ノイエ・ザムルング-国際デザイン美術館シニアキュレーター）「ミュンヘン-スタジオジュエリーの都」、関昭郎「アートを身につけるとのこと/オットー・クンツリとジュエリー」、田中雅子「Kósmos: 身体と世界をつなぐもの」

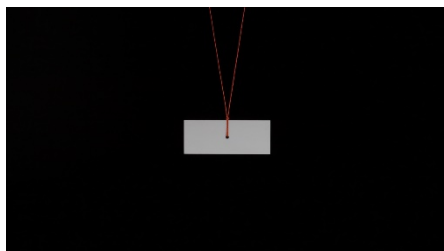
発行：株式会社芸術新聞社

発行部数：2,800 部

【関連映像の制作】

山城大督《Life in Pi》32 分

オットー・クンツリとディスカッションを重ねて誕生した、美術家で映像ディレクターの山城大督氏による 4K 映像作品。



《Otto Künzli. The Interview》26 分

出演 オットー・クンツリ

インタビュアー 関昭郎

字幕翻訳 秋山真樹子

撮影・編集 山城大督

企画・監修 東京都庭園美術館

各事業報告

【関連イベント】

a. アーティスト・レクチャー「Komainu & Co.」

講師：オットー・クンツリ

開催日：10月10日（土）

参加人数：119名

b. ワークショップ「マテリアル・ワンダーランド」

講師：嶺脇美貴子（ジュエリー・アーティスト／専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ講師）

開催日：10月25日（日）

参加人数：23名参加

c. キュレーター・トーク「アートを身につけるということ」

講師：関昭郎（当館事業企画係長・本展キュレーター）

開催日：11月8日（日）

参加人数：60名

d. シンポジウム「表現としてのジュエリー ―その可能性」

講師：スーザン・ピーチ（ジュエリー・アーティスト、SCHMUCK2 企画）、鈴野浩一（建築家、トラフ建築設計事務所共同主宰）、山縣良和（ファッション・デザイナー）、関昭郎（当館事業企画係長・本展キュレーター）

開催日：12月6日（日）

参加人数：106名

e. 石井かほる舞踊公演「ハートが躍る」

企画・出演：石井かほる（舞踊家、演出・振付家、舞踊教育）

開催日：12月12日（土）

参加人数：160名

f. TTM インターンによる「Pick up ギャラリー・トーク」

講師：荒木唯（平成27年度インターン生）

開催日：11月20日（金）、12月18日（金）、12月27日（日）

会場：新館ギャラリー1

参加人数：43名

g. 学芸員によるギャラリートーク

講師：関昭郎、田中雅子

開催日：12月18日（金）

会場：展示室

参加人数計：30名



展示風景（本館北の間）



展示風景（本館大食堂）



展示風景（新館ギャラリー1）



展示風景（新館ギャラリー1）

【「オットー・クンツリ展 展覧会ガイド」の制作・発行】

展示配置図、作品解説、作家略歴、テキスト「ジュエリーはなにに帰属するのか？」（執筆・編集：関昭郎、田中雅子）所収。

A4 サイズ 8 ページ

【サテライト・プログラム「プレイ・ジュエリー—装う、作る、考える」】

オットー・クンツリ展とコンテンポラリー・ジュエリーへの理解を深めるための展覧会サテライト・プログラム。スーザン・ピーチ（アーティスト/SCHMUCK2 創設者）の企画のもと、ワークショップ、国内外のジュエリー専門家や建築家、作家をゲストスピーカーとして招いたレクチャー、展示によって多角的なプログラムを企画し、ジュエリーに対する新しい視点を提示した。以下に挙げるプログラムのほか、オットー・クンツリ展会期中 20 件以上のコンテンポラリー・ジュエリー関連のプログラムが同時多発的に開催された。

主なプログラム：

a. MOBILE GALLERY（移動型展覧会）

池山晃広がミュンヘンのインターナショナル・ジュエリー・ウィーク期間中注目を集めたプロジェクトが東京に登場。展示ケースを備えた自転車が美術館を飛び出して街中でジュエリーを巡回展示し、コミュニケーションのきっかけになるジュエリーの特性を伝えた。

出品作家：池山晃広、小西潤、松田彩果、中村隆一郎、川和真紀

期間：2015年11月8日－12月6日

会場：東京都庭園美術館および都内各所

企画アーティスト：池山晃広

観覧者数：約20,000名



b. ウェア・アーキテクチャー（展覧会）

アートとのコラボレーションも多く手掛ける二人の建築家が、身体とジュエリーとの関係を、空間とインスタレーションに置き換える大胆な展示を行った。

建築家：永山祐子、中村竜治

期間：2015年12月12日－2016年1月30日

会場：(PLACE) by method

来場者数：350名



c. 「建築を通してジュエリーを考える」（座談会）

スーザン・ピーチによるコンテンポラリー・ジュエリーの発展についてのプレゼンテーションに続き、4名の建築家により、現代建築界における近年の動向が紹介され、アートジュエリーと建築との関係性を示すトピックについて、聴講者も含めて活発な対話が行われた。

講師：長坂常、永山祐子、中村竜治、中山英之

開催日：2015年11月8日

会場：(PLACE) by method

参加人数：40名



d. マキマキアクセサリーを作ろう！（ワークショップ）

「布を巻く」というシンプルな手法によって、子ども達にジュエリーの世界を楽しんでもらうきっかけを作った。6～12才の子どもたちが、ジュエリーの制作を通して型にはまらない自由な方法で表現し、身を飾る楽しみを体験した。

講師：川和真紀

開催日：2015年10月31日

会場：学校法人水野学園専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ

参加人数：25名



JEWELRY HUNTING（参加型プロジェクト）



光や影など日常に潜む“ジュエリー”を探し、撮った写真をInstagram等のソーシャルメディアにアップする参加型プロジェクト。見る者にジュエリーを所有する感覚を視覚的に体験させ、新しい価値の存在に気づかせる。

アーティスト：小川直子

期間：2015年10月10日 - 12月27日

会場：東京都庭園美術館、Instagram等のソーシャルメディア

(5) ガレの庭 花々と声なきものたちの言葉

期間：平成 28 年 1 月 16 日（土）～4 月 10 日（日）[81 日間／平成 27 年度中は 71 日間]
主催：公益財団法人東京都歴史文化財団、東京都庭園美術館、東京新聞
後援：在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本、公益財団法人日仏会館、日本ガラス工芸学会
特別協力：公益財団法人北澤美術館、オルセー美術館
協力：エールフランス航空/KLM オランダ航空
年間協賛：戸田建設株式会社
担当：八巻香澄、大木香奈
展示点数：149 点
配布物：「アンリエットの手紙」日・英
関連上映映像：北澤美術館ガラス・コレクション紹介ビデオ
「ガラスの輝きに美を求めて アール・ヌーヴォーの旗手～エミール・ガレとドーム兄弟～」
来館者数：51,656 人（平成 27 年度 71 日間）



アール・ヌーヴォーの旗手として知られるエミール・ガレ（1846-1904）の作品を、彼の植物学への情熱を切り口として紹介する展覧会。また、実作と一致するデザイン画が展示されることは非常に珍しいが、本展は北澤美術館所蔵のガラス作品とオルセー美術館所蔵のガレ工房のデザイン画（19 点）とをあわせて紹介する機会となった。

【ハンドアウト「アンリエットの手紙」（日・英）の制作・発行】

テキスト（執筆：八巻香澄）所収。

A5 サイズ 4 ページ

【展覧会カタログ】

所収論文：池田まゆみ（北澤美術館首席学芸員）「花々とものおわぬものたちの言葉」エミール・ガレの象徴芸術」、藤原啓（宇都宮美術館学芸員）「ガレのアール・ヌーヴォー—象徴という戦略」、フランソワ・ル・タコン（アカデミー・ド・スタニスラス会員）「エミール・ガレの芸術創造の核心をなした自然科学」、エリーズ・ドゥブルイユ（オルセー美術館 装飾美術担当学芸員）「オルセー美術館所蔵のデザイン画について」

【関連イベント】

- a. 手話とトーク「もしもガレがガラス職人に手話で指示したとしたら」
エミール・ガレの作品制作に使われている技法の用語を、手話で作ってみるプログラム。
事後に報告書をウェブサイトへアップした。(手話通訳・要約筆記付き)
コーディネーター：NPO 法人エイブル・アート・ジャパン「美術と手話プロジェクト」
開催日：1月23日(土) 14:00～16:30
参加人数：31名(うち聴覚障害のある方12名)
レポート：http://www.teien-art-museum.ne.jp/exhibition/160123_galle_handsign.html
- b. 講演会「ガレの庭 自然と象徴」
講師：池田まゆみ氏(本展監修者・北澤美術館主席学芸員)
開催日：2月6日(土) 14:00～16:00
参加人数：147名
- c. トークイベント「キノコの世界から見たガレ」
ガレのひとよたけを題材とした作品ほか、きのこカルチャーの紹介と解釈。
講師：とよ田キノ子氏(きのこ愛好家、ウェブデザイナー)
開催日：3月13日(日) 15:00～16:30
参加人数：94名
- d. 「大学生によるギャラリートーク」
講師：美術大学の学生4名
指導協力：杉浦幸子(武蔵野美術大学芸術文化学科教授)
開催日：2月12日(金)、2月19日(金) 各日4回、各回30分
参加人数計：170名(各日85名)
- e. 「インターンによるギャラリートーク」
講師：佐伯百々子(当館インターン)
開催日：2月26日(金) 14:00～14:30
参加人数：25名
- f. シルバーデー・レクチャー「ミュージアムに行きましょう」
美術館で行っているラーニング・プログラムの紹介と、美術鑑賞についてのレクチャー。
講師：八巻香澄(当館学芸員)
開催日：2月17日(水) 11:30～12:00/15:00～15:30
3月16日(水) 11:30～12:00/15:00～15:30
参加人数計：195名(2月17日 105名、3月16日 90名)

3. 美術品の購入

アール・デコ様式の家具1点を購入した。購入した美術品は、27年度は「アール・デコの邸宅美術館 建築を見る 2015 展」ほかで展示した。

【購入作品】

アンドレ・グルーのデザインによる椅子 2脚

デザイン：1924年

素材：黒檀、鼈甲、ファブリック（ポーヴェ織物工房）、真鍮

背もたれ部分ペイント：マリー・ローランサン

制作：アドルフ・シャノー



4. 紀要の発行

「東京都庭園美術館紀要 2015-2016」の刊行



所収論文：八巻香澄「ウエルカムルームのデザイン そこに対話の「場」を開いておくということ」
発行方法：ウェブサイトで公開

5. 教育普及

(1) ウェルカムルーム運営

来館者一人一人が能動的に美術館体験を楽しむための、ラーニング・プログラムの拠点。カンパセーション・テーブル「さわる小さな庭園美術館」、建築紹介の音声ガイドとしても使えるアプリのためのタブレット端末、本棚、ワークシートなどが設置されており、展覧会鑑賞前後にのんびり過ごす空間として親しまれている。

利用者数：51,656人



【ウェルカムルーム内の展覧会関連プログラム】

- a. マスク展「顔ささず写真館」（展示作品をモチーフとしたフォトプロップ）
- b. マスク展「からだおえかき」（マスクをつけている人物の体を描くワークシート）
- c. マスク展「かおならべ」（顔をモチーフにしたカードゲーム）
- d. マスク展「むかしむかし、あるところに・・・」（サイコロを使ったストーリーテリング）
- e. アール・デコの邸宅美術館 展「アール・デコの着せ替え人形作り」
- f. オットー・クンツリ展「ソウゾウしよう！みんなのハート」（あーととあそぶにわプログラムの簡易版）
- g. ガレの庭「ダレの野菜畑？」（野菜モチーフのデザイン画を描くワークシート）

(2) ワークショップ等

a. 「あーととあそぶにわ」

よちよち歩きさんから小学校低学年さんとその家族を対象としたプログラム。

美術館の庭園で、美術館や展覧会に興味をもってもらうための導入として、絵本の読み聞かせや簡単な制作活動を行っている。

「あーととあそぶにわ」は2014年度からスタートしたが、一つの展覧会に対して回数を増やしたことで参加しやすくなり、展覧会ごとにリピートして参加してくれている家族も多い。また、東京理科大学工学部建築学科伊藤香織研究室の学生たちに企画・運営に関わってもらっている。



1	2015年5月3日(日)	参加者数 46名	「マスク展」に関連したプログラム「ひやくあたまさん、こんにちは」
2	2015年5月23日(土)	参加者数 81名	
3	2015年6月12日(金)	参加者数 55名 (雨天のため室内で実施)	
4	2015年8月2日(日)	二部構成で参加者数のべ71名	「建築をみる2015」に関連したプログラム「いたずら小人とたからものさがし」
5	2015年8月14日(金)	二部構成で参加者数のべ156名	
6	2015年9月20日(日)	二部構成で参加者数のべ446名	
7	2015年10月29日(木)	参加者数 78名	「オットー・クンツリ展」に関連したプログラム「ソウゾウしよう! みんなのハート」
8	2015年11月1日(日)	参加者数 90名	
9	2015年11月15日(日)	参加者数 41名 (雨天のため室内で実施)	「ガレの庭」に関連したプログラム「ダレの庭?」
10	2016年3月11日(金)	参加者数 14名 (雨天のため室内で実施)	
11	2016年3月12日(土)	参加者数 72名	
12	2016年3月27日(日)	参加者数 46名	
		合計 1,196名	

b. 「五感と想像力で歩く建築ツアー」

本館建築を五感と想像力を駆使して鑑賞するプログラム。普段は触ることのできない、本館建物の壁や柱、石材などにも触ってみることができる。当館ウェルカムルームにて「さわる小さな庭園美術館」を使って対話をした後、本館見学をするが、その対話の内容にあわせて、見学する部屋や体験内容をアレンジした。



ゲストファシリテーター：齋藤名穂（「さわる小さな庭園美術館」デザイナー、二級建築士）

開催日：2015年9月9日（水）1回目 15:00～17:00／2回目 18:30～20:30

参加者数計：21名 1回目 12名／2回目 9名

*台風接近による交通ダイヤの乱れなどにより、参加者数は予定の半分ほどであった。

c. 「みんなで作るギャラリー・カンパセーション」

対話によって鑑賞を深めていくプログラム。今年度は建築空間の鑑賞をテーマとして、視覚障害のある人とない人が一緒に話をすることで美術鑑賞していくプログラムを行っているグループにナビゲーターを依頼した。視覚障害のあるナビゲーターの問いかけに答えていくことで、自分一人で見えていた時には気がつかなかったことを発見した。



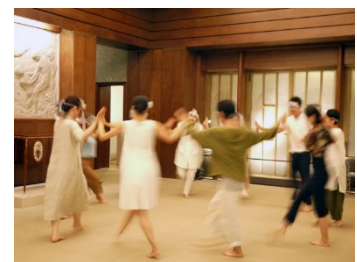
ナビゲーター：「視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ」（任意団体）

開催日：2015年10月17日（土）1回目 10:30～13:00／2回目 15:00～17:45

参加者数計：28名 1回目 14名／2回目 14名（うち、視覚や聴覚に障害のある人 5名）

d. 「ここクリエイション 透明になるためのプラクティス」

当館の空間（本館建築・新館建築・庭園）とアーティストと参加者とのコクリエイション（共創）のためのクリエイティブ・ラーニングのためのプログラム。今年度は東山佳永氏を迎え「透明になるためのプラクティス」というタイトルで、造形と身体表現のワークショップを行った。事後の広がりとして、このワークショップで制作した造形（仮面とジュエリー）と、記録映像の展示をウェルカムルームにて行った。



アーティスト：東山佳永

ゲストミュージシャン：齋藤紘良

【前期】「精霊たちの仮面舞踏会」

開催日：2015年8月15日（土）& 8月22日（土） 17:00～20:30

参加者数：22名

【後期】「精霊たちの庭園演奏会」

開催日：2015年10月31日（土）& 11月7日（土） 13:00～17:30

参加者数：22名

各事業報告

e. 「さわる小さな庭園美術館の大そうじ」

ウェルカムルームに設置している「さわる小さな庭園美術館」の汚れたパーツを取り替えたり、デザイン変更した新しいパーツをつけたりというメンテナンス作業を開館時間中に行い、来館者に「さわる小さな庭園美術館」についてデザイナー本人が話をする機会を設けた。

開催日：2015年8月21日（金） 10:00～18:00

(3) 学校団体見学等受け入れ

1	5月17日	武蔵野音楽大学 音楽環境運営学科	約20名
2	5月29日	新潟市美術館友の会	18名
3	6月16日	墨田区立錦糸小学校6年生	35名
4	6月19日	東京造形大学	15名
5	6月25日	品川区立第三日野小学校	98名
6	7月20日	宮城学院女子大学 学芸員課程2年次	17名
7	7月25日	埼玉県立近代美術館サポーター研修	18名
8	7月27日	日野市立日野第三中学校 美術創作部	20名
9	7月27日	品川区立戸越台中学校 美術部	12名
10	8月5日	武蔵野美術大学 造形学部通信教育課程	14名
11	8月26日	「学校と文化施設をつなぐティーチャーズプログラム2015夏」 (公益財団法人東京都歴史文化財団連携事業) 都内小・中・高・特別支援の教員を対象とした研修プログラム	17名
12	11月16日	港区立南山小学校4年生	19名
13	1月29日	練馬区立石神井南中学校	5名
14	2月27日	川口市市民大学	30名
15	3月14日	ザ・モンテソーリスクール・オブ・トウキョウ	24名
16	3月15日	墨田区図工研究会 (墨田区立の小学校の図工科教員の研究会)	11名

6. 施設維持管理等

(1) 美術館維持管理

平成 30 年度のグランドオープンへ向け、引き続き美術館敷地内では工事等が続いているが、平成 27 年度は、東京都が実施している日本庭園改修工事、茶室耐震補強工事への協力・調整、本館エレベーター設計およびレストラン設計への協力・調整を行った。

また、平成 27 年 7 月 8 日に国指定重要文化財になった本館がより良い状態で保存・活用できるよう軽微な修繕等を行うなどしている。相反する、保存と活用をいかに両立し、重要文化財である本館を守ってゆくかを今後も検討していきたい。

平成 27 年度は、展覧会、庭園合わせて約 23 万人の来館者を迎えたが、大きな混乱もなく来館者が安全・快適に鑑賞できるような美術館の体制を築けている。年に数回発生するクレーム等については、委託業者を含めた館を挙げて誠実にまたすみやかに対応するよう心がけている。

1) 日本庭園改修工事の開始 (平成 27 年 5 月)

茶室耐震補強工事の開始 (平成 27 年 8 月)

本館エレベーター・レストラン設計の開始 (平成 27 年 11 月)

2) 本館の軽微な修繕等

- ・雨漏り対策 (本館 2 階妃殿下バルコニーテラコッタ目地のシーリング補強)
- ・正門補修 (歪みの調整および表面塗装の修繕)
- ・その他多数

館内連絡会の定期開催により、館と業者のみならず、各業者間の連携・協力体制を確立

(2) 広報事業

来館者のアンケートからも、広報媒体としてのWebサイトやSNSの重要性はますます高まってきており、それらを使った情報発信を心がけた。ツイッターのフォロワー数も4万を超え、フェイスブックの記事は好評を得ている。

来館者を対象とした広報媒体としては、7月に旧朝香宮邸が重要文化財に指定されたことから、あらたにパンフレット(日・英)を作成し配布している。また年間の展覧会スケジュール等をまとめたパンフレット(日・英)を作成配布することで、来館者の利便性を高めリピートを促している。

広告看板としては、目黒駅からの通り沿いに、展覧会毎のバナーを掲出している。また最寄の目黒駅と白金台駅には、電飾看板を設置している。

また約1年間有効の年間パスポート「TTM PASSPORT 2015」を初めて販売し、約2ヶ月間で完売した。

その他、展覧会毎に駅張りや車内等の交通広告や新聞広告を行ったほか、テレビ、雑誌等の取材対応を行った。

【実績】

TV・ラジオ放送件数 22件

新聞掲出件数 81件

雑誌掲出件数 304件

Webサイト アクセス数 4,200,137件

SNS 投稿数 328回

美術館前バナー 1か所 更新回数4回

目黒通りバナー 18か所 更新回数4回

パンフレット「重要文化財 旧朝香宮邸」(日・英) 発行部数 55,000部(日)/10,000部(英)

パンフレット「展覧会カレンダー2015~2016」(日・英) 発行部数 80,000部(日)/10,000部(英)

年間パスポート「TTM PASSPORT 2015」販売価格4,000円(部数限定)



(3) リニューアルオープン関連事業

2014年のリニューアルを機にスタートした、ギャラリー2を中心にパフォーマンス・アートを紹介する「TTM: IGNITION BOX」を昨年度と同じ4名のプログラム・ディレクターの企画のもと実施した。それぞれ東京都庭園美術館の歴史や空間の特性をいかしたコンセプトを立案し、多くの新作を含め東京都庭園美術館でしか見られないプログラムが実現した。当館の美術館としての可能性を広げるとともに、展覧会の来場者とは異なる層の参加も目立ち、リニューアルを経た東京都庭園美術館の新しいイメージを打ち出す重要なファクターを担っている。

PROGRAM_A | ライヴパフォーマンスとしてのビデオアート

Moving Image as Live Performance ライヴ・パフォーマンスとしての映像

会場：新館ギャラリー2

プログラム・ディレクション：河合政之（ビデオアーティスト）

映像表現とライヴ・パフォーマンスの関係性をテーマに、20世紀初頭の実験的な試みを引用しつつ、世代やジャンルの異なるアーティストが共演することで展開した。

第1回

出演者：灰野敬二（音楽家）、高嶺格（美術作家・演出家）河合政之、
浜崎亮太（ビデオ・アーティスト）

開催日：2016年2月20日（土） 15:00-17:00

参加者数：71名



高嶺格 パフォーマンス

第2回

出演：今井祝雄（美術家）、山田有浩（舞踏家）、前田真二郎（映像作家）、
濱地潤一（サクソフォン奏者・作曲家）、津上研太（ジャズ・サクソ奏者）、
河合政之、浜崎亮太

開催日：2016年3月19日（土） 15:00-17:00

参加者数：87名



今井祝雄『時間の衣裳/壁男』

PROGRAM_B | Sprout : レンズ系とジェネ系の世紀、ふたつの黎明

会場：新館ギャラリー2

プログラム・ディレクション：澤隆志（キュレーター・映像作家）

アニメーションが誕生した20世紀と、計算による映像表現の試みが今まさに現在進行形で行われている21世紀のそれぞれのイノベーションを、各回2セッションで紹介した。

各事業報告

第1回

1st Session 「フライシャー兄弟の発明」

2nd Session 「クリエイティブ・ハッキング」

出演：細馬宏通（滋賀県立大学教授）、田所淳（クリエイティブコー
ダー）、谷口暁彦（アーティスト）、澤隆志

開催日：2015年9月12日（土）14:00-17:30

参加者数：60名



谷口暁彦氏によるプレゼンテーション

第2回

1st Session 「ミッキーはなぜ口笛を吹くのか」

2nd Session 「インターネットで越えられない境界」

出演：細馬宏通、exonemo（メディアアートユニット）、澤隆志

開催日：2016年2月14日（日）14:00-17:30

参加者数：71名



PROGRAM_C | MUSIC/LIVE

マイア・バルー LIVE



日本の民謡や世界の様々な音楽をミックスした“ROOTS & FUTURE SOUND”を、初めて美術館を舞台にスペシャルユニットで見せる、マイア・バルーのライブ・パフォーマンス。

プログラム・ディレクション：マイア・バルー

Maïa Barouh（ヴォーカル・フルート）、Minh Pham（キーボード）、Anthony Fresneau（ドラム）、
Leo Komazawa（パーカッション）、Michelle Michina（コーラス）

開催日：4月4日（土）、4月5日（日）19:30-20:30

会場：新館ギャラリー2

参加者数計：139名（4日63名、5日76名）

各事業報告

PROGRAM_D | 饗宴のあと アフター・ザ・シンポジウム

建物を記憶の器ととらえ、日本近代史の重要な転換点の舞台となった朝香宮邸に触発された新作フィクションの音声劇。参加者はアプリをダウンロードし、本館内を回遊しながらヘッドホンで鑑賞する。

プログラム・ディレクション：相馬千秋（アートプロデューサー）

演出・テキスト：藤井光（美術家・映画監督）

テキスト：深田晃司（映画監督）

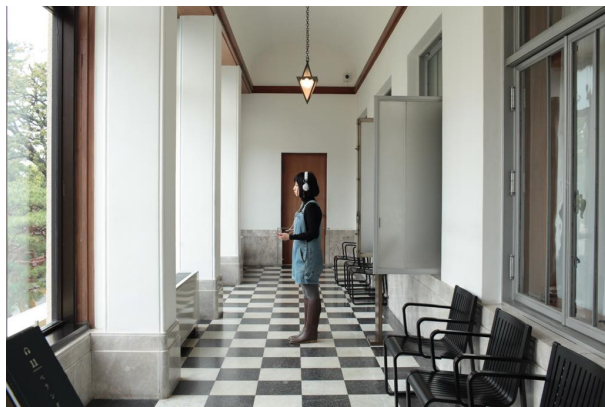
音楽：鈴木治之（作曲家）

期間：1月17日（土）～4月7日（火）

会場：本館

参加者数：平成27年度4月1～7日までの7日間で307名

※1月17日～4月7日の全会期で1,180名



©Hikaru Fujii

7. 収益事業

(1) ミュージアムショップの運営

新館1階及び正門横にあるショップでは、来館者等にオリジナル商品、展覧会図録やグッズ、各種書籍やアート関連商品等を販売している。

リニューアルオープン時に、事業者と協力して開発したオリジナル商品に関しては、今年度もあらたにポストカード、クリアファイル、一筆箋、マスキングテープ、ブックマーカー、ハンドタオル等を追加し、その充実を図った。また、「マスク展」等展覧会に合わせたオリジナルグッズも開発、販売し、好評を得た。

【実績】

購入客数：50,153人

営業日数：320日

事業者：美術出版サービスセンター

店舗名/場所：NOIR（ノワール）/新館1階

営業時間：10：00～18：00

定休日：毎月第2・第4水曜日（祝日の場合は営業、翌日休み）、年末年始、展覧会準備期間

店舗名/場所：BLANC（ブラン）/正門横

営業時間：10：00～18：30

定休日：毎月第2・第4水曜日（祝日の場合は営業、翌日休み）、年末年始



NOIR（ノワール）/新館1階



BLANC（ブラン）/正門横

(2) カフェの運営

新館1階のカフェでは有名店と協力して当館オリジナルブレンドのコーヒーを提供したり、オリジナルスイーツを提供している。季節または展覧会毎にフレーバーを変えるなど、利用者を飽きさせない工夫をしている。

テラス利用者の利便性を高めるため、あらたにパラソルを設置。日よけのみならず、ロケーションの向上にも資している。

「ガレの庭展」においては、エミール・ガレを接点として、シャンパーニュの名品ペリエ ジュエとのコラボ企画を実施。グラスや限定スイーツ（マカロン）とのセット販売により好評を博した。また、期間中は店舗内装もポップアップし、美術館全体の雰囲気作りにも貢献した。

【実績】

利用者数：34,449人

営業日数：277日

事業者：美術出版サービスセンター

店舗名/場所：Café du Palais（カフェ・ド・パレ）

営業時間：10：00～18：00

定休日：毎月第2・第4水曜日（祝日の場合は営業、翌日休み）、年末年始、展覧会準備期間

席数：34席（屋内22席/テラス席12席）





平成 27 年度の実績

1. 入館者数

(単位:人)

事 項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
企 画 展	幻想絶佳：アール・デコと古典主義	7,759											7,759
	マスク展	4,955	24,401	26,433									55,789
	アール・デコの邸宅美術館				8,269	19,617	24,435						52,321
	オットー・クンツリ展							10,547	12,436	11,509			34,492
	ガレの庭									7,582	17,655	26,419	51,656
観覧者 合計	12,714	24,401	26,433	8,269	19,617	24,435	10,547	12,436	11,509	7,582	17,655	26,419	202,017
庭園のみ入場者	938	4,095	2,084	1,756	613	3,127	4,510	2,827	1,885	1,757	1,808	3,027	28,427

2. 広報・広告件数

(単位:件)

事 項	区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
マスコミ	TV・ラジオ放送件数	1	3	3	0	1	1	0	3	3	2	2	3	22
	新聞掲出件数	2	10	9	6	9	7	5	6	6	6	10	5	81
	雑誌等掲出件数	20	45	27	25	23	24	31	20	19	29	22	19	304
ホームページ	アクセス件数 (PV)	340,989	431,102	377,577	320,539	443,897	433,962	294,799	255,014	229,036	278,120	355,478	439,624	4,200,137

3. 収益事業収入

(単位:円)

事 項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
管理手数料 及び売上高	MS管理手数料	402,703	761,781	764,749	308,109	710,229	842,601	360,457	403,236	426,297	414,500	876,488	1,344,782	7,615,932
	カフェ管理手数料	243,226	546,565	479,130	233,233	491,309	463,556	278,727	280,492	209,687	191,467	390,029	550,714	4,358,135
	駐車場売上高	141,100	375,800	297,500	143,300	398,700	324,600	157,500	184,400	114,400	116,300	241,500	291,000	2,786,100
	自販機管理手数料	22,379	22,043	20,547	24,953	20,996	25,015	21,236	19,222	18,324	20,444	17,557	20,196	252,912
	計	809,408	1,706,189	1,561,926	709,595	1,621,234	1,655,772	817,920	887,350	768,708	742,711	1,525,574	2,206,692	15,013,079

(参考) ミュージアムショップ売上高

(税抜)

事 項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
MS売上 高	開店日数	14	29	28	29	29	28	29	28	25	25	27	320	
	売上高(円)	5,612,049	11,193,670	12,967,012	3,534,763	8,084,824	9,677,555	4,048,193	5,166,852	5,922,058	4,096,827	8,594,887	13,008,175	91,906,865
	購買客数(人)	2,857	5,862	6,175	2,234	4,917	5,770	1,978	2,425	2,632	2,189	5,113	8,001	50,153
	1日平均売上金額	400,861	385,989	463,108	121,888	278,787	345,627	139,593	184,530	236,882	163,873	318,329	448,558	287,209
	1人平均購買金額	1,964	1,910	2,100	1,582	1,644	1,677	2,047	2,131	2,250	1,872	1,681	1,626	1,833

(参考) カフェ売上高

(税抜)

事 項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
カフェ売上 高	開店日数	13	29	28	13	29	22	20	28	24	15	27	277	
	売上高(円)	2,252,105	5,060,793	4,436,393	2,159,575	4,549,160	4,292,199	2,580,819	2,597,154	1,941,559	1,772,854	3,611,386	5,099,212	40,353,209
	飲食客数(人)	2,008	4,411	4,057	1,666	4,069	3,603	2,127	2,309	1,801	1,207	3,130	4,061	34,449
	1日平均売上金額	173,239	174,510	158,443	166,121	156,868	195,100	129,041	92,756	80,898	118,190	133,755	175,835	145,679
	1人平均飲食金額	1,122	1,147	1,094	1,296	1,118	1,191	1,213	1,125	1,078	1,469	1,154	1,256	1,171

平成 27 年度の実績

4. 展覧会関連事業

(単位:人)

事業名	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
展覧会に伴う講演会	実施事業数	1	1	0	1	1	1	1	1	1	0	1	1	10
	延実施日数	1	1	0	1	1	1	1	1	1	0	1	1	10
	延実施回数	1	2	0	1	1	1	1	1	1	0	1	1	11
	延参加人数	120	112	0	116	35	43	119	60	106	0	147	94	952
展覧会ギャラリーツアー等	実施事業数	0	1	2	1	1	1	1	1	3	1	3	0	15
	延実施日数	0	2	3	1	2	2	1	1	4	1	4	0	21
	延実施回数	0	2	3	1	2	2	1	1	4	1	5	0	22
	延参加人数	0	58	165	40	112	100	23	13	220	31	300	0	1,062
ワークショップ等	実施事業数	0	1	1	0	2	2	3	2	0	0	0	2	13
	延実施日数	0	2	1	0	4	2	3	3	0	0	0	4	19
	延実施回数	0	2	1	0	6	7	4	3	0	0	0	5	28
	延参加人数	0	127	55	0	249	467	118	141	0	0	0	222	1,379
ミュージアム・コンサート	実施事業数	0	0	0	1	1	1	0	1	0	1	0	0	5
	延実施日数	0	0	0	1	1	1	0	1	0	1	0	0	5
	延実施回数	0	0	0	1	1	1	0	1	0	1	0	0	5
	延参加人数	0	0	0	70	107	110	0	132	0	102	0	0	521
その他イベント	実施事業数	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	1	6
	延実施日数	9	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	1	13
	延実施回数	9	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	1	13
	延参加人数	446	0	0	0	0	60	0	0	0	0	142	87	735

5. 出版物

	<p>フランス国立ケ・ブランリ美術館所蔵 マスク展</p> <p>発行数 2,500 部 平成 27 年 4 月 25 日 発行 編集/発行 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館 販売価格 2,500 円 (税込)</p>
	<p>I made it-You name it 東京都庭園美術館 オットー・クンツリ展カタログ</p> <p>発行数 2,800 冊 平成 27 年 10 月 29 日 発行 編集 東京都庭園美術館 発行 株式会社芸術出版社 販売価格 2,484 円 (税込)</p>
	<p>ガレの庭 花々と声なきものたちの言葉</p> <p>発行数 巡回展共通制作のため未定 平成 28 年 1 月 16 日 発行 編集 東京都庭園美術館 宇都宮美術館 東京新聞事業局文化事業部 発行 東京新聞 販売価格 2,500 円 (税込)</p>
	<p>東京都庭園美術館紀要 2015-2016</p> <p>平成 28 年 3 月 31 日 発行 発行数 (ホームページで公開) 編集/発行 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館 販売価格 無料</p>

展覧会実績一覧

1983 昭和58年

グッゲンハイム美術館展 1983年10月1日～12月25日(81日)

1984 昭和59年

早春展 1984年2月23日～4月9日(45日)
 陽春展 1984年4月14日～4月23日(10日)
 コプト美術展 1984年4月28日～6月3日(35日)
 '84初夏-美とのであい 1984年6月16日～7月8日(22日)
 ルオー展 1984年9月14日～11月4日(48日)
 晩秋展 1984年11月17日～12月23日(35日)

1985 昭和60年

日本画による初春展 1985年1月12日～2月11日(30日)
 アレックス・コルヴィル展 1985年2月20日～3月21日(28日)
 フランス・コルベール展 1985年4月1日～5月12日(39日)
 日本の美 1985年5月19日～6月23日(31日)
 アジア近代絵画の夜明け展 1985年7月20日～9月1日(44日)
 庭園美術館への誘い 1985年9月12日～24日(13日)
 20世紀オーストラリア美術名作展 1985年10月4日～11月6日(32日)
 NEW YORK・ニューヨーク 1985年11月17日～12月22日(34日)

1986 昭和61年

回想の江戸・東京展 1986年1月11日～2月23日(42日)
 12人の現代彫刻家 1986年3月2日～4月16日(43日)
 アントニー・クラベ展 1986年4月27日～6月30日(61日)
 黒田清輝展 1986年7月11日～8月10日(30日)
 日本の子どもの本歴史展 1986年8月17日～9月23日(36日)
 室町美術と戦国画壇 1986年10月5日～11月9日(34日)
 庭園美術館へのいざない パートⅢ 1986年11月20日～12月21日(30日)

1987 昭和62年

日本のガラス造形-昭和 1987年1月10日～3月22日(67日)
 アンデスの染織と工芸 1987年4月4日～5月12日(37日)
 美しき日本 1987年5月23日～6月30日(36日)
 小磯良平展 1987年7月11日～8月30日(48日)
 ブールデル/デュフェ 1987年9月12日～11月23日(69日)
 「新東京百景」展 1987年11月29日～12月22日(23日)

1988 昭和63年

回想の江戸・東京Ⅱ 1988年1月10日～2月14日(33日)
 牧野虎雄・曾宮一念展 1988年2月25日～3月27日(30日)
 ルネ・ラリック展 1988年4月5日～5月29日(51日)
 パリ・街・人 アジェとカルティエ=ブレッソン 1988年6月4日～7月24日(48日)
 西洋美術の名作展 1988年7月31日～9月4日(34日)
 ヤン・トーロップ展 1988年9月20日～11月6日(45日)
 レオナール・フジタ展 1988年11月12日～1989年2月21日(90日)

1989 昭和64年 平成元年

東京都江戸東京博物館収蔵品展 1989年3月1日～3月28日(26日)
 ヘルムート・ニュートン ポートレート 1989年4月5日～5月14日(37日)
 フンデルトワッサー展 1989年5月21日～7月11日(49日)
 藤島武二展 1989年7月19日～9月3日(47日)

江戸美術の祝祭 1989年9月14日～10月24日(39日)
国吉康雄展 1989年11月1日～12月24日(51日)

1990 平成2年

旧朝香宮邸のアー・デコ 1990年1月11日～2月4日(24日)
ドイツ・ロマン派の時代展 1990年2月18日～3月25日(34日)
浜口陽三展 1990年4月3日～6月3日(58日)
ルネ・ラリックの香水瓶展 1990年6月16日～8月5日(48日)
古代ギリシャ美術展 1990年8月18日～9月23日(35日)
エドワード・ホッパー展 1990年10月6日～12月16日(67日)

1991 平成3年

ルイス・C・ティファニー展 1991年1月12日～3月17日(61日)
旧朝香宮邸のアー・デコ 1991年3月24日～3月31日(7日)
子どもの本・1920年代展 1991年4月6日～5月26日(47日)
カッサンドル展 1991年6月2日～7月14日(40日)
小磯良平遺作展 1991年7月20日～8月27日(37日)
袱紗展 1991年9月14日～10月13日(28日)
世界の名作展 1991年11月2日～12月20日(46日)

1992 平成4年

ベルリン東洋美術館名品展 1992年1月12日～2月17日(35日)
旧朝香宮邸のアー・デコ 1992年2月29日～3月24日(24日)
巴里・モダン1910-30年代 1992年4月4日～5月24日(48日)
ロバート・メイプルソープ展 1992年6月2日～7月2日(29日)
日本洋画再考展 1992年7月10日～8月5日(26日)
洋画の動乱 昭和10年 1992年8月14日～10月6日(51日)
卓上の芸術 1992年10月17日～12月10日(51日)
旧朝香宮邸のアー・デコ 1992年12月18日～1993年1月21日(25日)

1993 平成5年

ドーム・ガラス展 1993年1月31日～3月15日(41日)
旧朝香宮邸のアー・デコ展 1993年4月3日～4月13日(11日)
長谷川潔展 1993年4月29日～7月7日(66日)
デ・キリコ展1920-1950 1993年7月16日～8月15日(29日)
大正日本画の若き俊英たち 1993年8月21日～9月23日(31日)
アー・デコ様式のセーブル磁器展 1993年10月2日～12月19日(74日)

1994 平成6年

旧朝香宮邸の建築と歴史 1994年1月15日～2月13日(38日)
全国美術館コレクション名品展 1994年3月3日～3月31日(27日)
旧朝香宮邸のアー・デコ展 1994年4月5日～4月17日(12日)
カール・ラーション展 1994年4月23日～5月31日(36日)
ヨーロッパ工芸新世紀展 1994年6月11日～7月31日(48日)

1995 平成7年

旧朝香宮邸のアー・デコ 1995年3月10日～3月19日(10日)
フランス宝飾芸術の世界展 1995年4月8日～5月28日(47日)
レオナルド・ダ・ヴィンチ人体解剖図 1995年6月10日～7月30日(47日)
アメリカに生きた日系人画家たち 1995年8月12日～10月1日(48日)
スチュアート・デイヴィス展 1995年10月10日～11月26日(44日)
エドゥアール・サンド彫刻展 1995年12月7日～1996年2月13日(57日)

1996 平成8年

旧朝香宮邸のアー・デコ 1996年2月24日～3月24日(28日)
旧朝香宮邸のアー・デコ 1996年4月1日～5月26日(52日)

林武展 1996年6月15日～7月28日(41日)
日本工芸の青春期1920s-1945 1996年8月10日～9月17日(36日)
北大路魯山人展 1996年10月5日～11月24日(48日)
ジョージ・チネリーと知られざる19世紀広東・マカオ・香港の美術展 1996年12月7日～1997年2月11日(55日)

1997 平成9年

イタリア・バロック絵画展 1997年2月20日～3月30日(36日)
アルザスとフランス近代美術の歩み 1997年4月5日～5月25日(48日)
パリ国立オペラ座衣裳展 1997年6月14日～8月17日(61日)
東南アジア-近代美術の誕生 1997年9月6日～10月12日(34日)
フオンタネージと日本の近代美術 1997年10月23日～12月14日(50日)
旧朝香宮邸のアー・デコ 1997年12月21日～1998年1月27日(28日)

1998 平成10年

工芸のジャポニスム展 1998年2月7日～3月24日(43日)
華麗なる馬たち 1998年4月4日～5月26日(50日)
イタリアのガラス1930-1970 1998年6月6日～7月26日(47日)
ザッキン-彫刻と素描展 1998年8月8日～9月27日(47日)
ジョルジョ・モランディ 花と風景 1998年10月10日～11月29日(47日)
旧朝香宮邸のアー・デコ 1998年12月12日～1999年3月21日(86日)

1999 平成11年

名画の花束 1999年4月3日～5月30日(54日)
リパティ・スタイル展 1999年6月12日～7月25日(42日)
宮本三郎展 1999年8月7日～9月19日(41日)
パリ・モード1870-1960 1999年10月2日～12月19日(74日)

2000 平成12年

アー・デコと東洋 2000年1月8日～3月21日(69日)
デペロの未来派芸術展 2000年4月4日～5月23日(47日)
指輪-ちいさな記念碑の物語 2000年6月7日～8月6日(57日)
旧朝香宮邸のアー・デコ展 2000年8月19日～10月29日(67日)
ルネ・ラリック1860-1945展 2000年11月11日～2001年1月31日(69日)

2001 平成13年

ロシア・アヴァンギャルド展 2001年2月10日～4月1日(47日)
ジョルジュ・ルース展 2001年4月7日～6月3日(54日)
ジノリ展 2001年6月16日～8月19日(61日)
安田侃-彫刻展 2001年8月25日～9月16日(22日)
安田侃-野外彫刻展 2001年4月12日～2002年3月17日併催
カラヴァッジョ 2001年9月29日～12月16日(76日)

2002 平成14年

旧朝香宮邸のアー・デコ展 2002年1月5日～3月17日(67日)
マジョリカ名陶展 2002年4月4日～6月23日(76日)
ソニア・ドローネ 2002年7月6日～9月8日(61日)
ピュイフォルカ展 2002年9月21日～12月1日(68日)

2003 平成15年

旧朝香宮邸のアー・デコ 2003年1月4日～4月6日(81日)
ヨーロッパ・ジュエリーの400年 2003年4月24日～7月1日(65日)
マリー・ローランサン回顧展 2003年7月19日～9月15日(55日)
アー・デコ様式 2003年10月1日～2004年2月1日(105日)

2004 平成16年

パリ1900 2004年2月21日～4月11日(48日)
シルクロードの装い 2004年4月24日～6月20日(54日)
幻のロシア絵本1920-30年代展 2004年7月3日～9月5日(61日)
エミール・ノルデ 2004年9月18日～11月7日(48日)
田原桂-光の彫刻 2004年11月20日～2005年1月23日(54日)

2005 平成17年

日本のジュエリー100年 2005年2月5日～4月10日(61日)
ジェームズ・アンソール展 2005年4月23日～6月12日(47日)
八木一夫展 2005年7月2日～8月21日(48日)
庭園植物記 2005年9月3日～11月6日(61日)
華麗なるマイセン磁器 2005年11月19日～2006年1月22日(55日)

2006 平成18年

宇治山哲平展 2006年2月4日～4月9日(61日)
北欧のスタイリッシュ・デザイン 2006年4月22日～6月18日(54日)
旧朝香宮邸のアール・デコ展 2006年7月8日～10月1日(80日)
アール・デコ・ジュエリー 2006年10月14日～2007年1月14日(80日)

2007 平成19年

アルフレッド・ウォリス 2007年2月3日～3月31日(53日)
大正シック 2007年4月14日～7月1日(74日)
舞台芸術の世界 2007年7月26日～9月17日(51日)
世界を魅了した ティファニー 1837-2007 2007年10月6日～12月16日(67日)
アール・デコの館 2007年12月23・24日/2008年1月12日～14日(5日)

2008 平成20年

建築の記憶 2008年1月26日～3月31日(63日)
オールドノリタケと懐かしの洋食器 2008年4月17日～6月15日(56日)
舟越桂 夏の邸宅 2008年7月19日～9月23日(64日)
アール・デコの館 2008年10月1日～10月13日(13日)
1930年代・東京 2008年10月25日～2009年1月12日(69日)

2009 平成21年

ポワレとフォルチュニイ 2009年1月31日～3月31日(58日)
エカテリーナ2世の四大ディナーセット 2009年4月16日～7月5日(76日)
ステッチ・バイ・ステッチ 2009年7月18日～9月27日(68日)
パリに咲いた古伊万里の華 2009年10月10日～12月23日(70日)

2010 平成22年

マッキアイオーリ 2010年1月16日～3月14日(54日)
アール・デコの館 2010年3月25日～4月11日(18日)
ロトチェンコ+ステパーノワ 2010年4月24日～6月20日(54日)
有元利夫展-天空の音楽 2010年7月3日～9月5日(61日)
香水瓶の世界 2010年9月18日～11月28日(67日)
朝香宮のグランドツアー 2010年12月11日～2011年1月16日(28日)

2011 平成23年

20世紀ポスター [タイポグラフィ] 2011年1月29日～3月27日(50日)
森と芸術 2011年4月16日～7月3日(74日)
皇帝の愛したガラス 2011年7月14日～9月25日(70日)
アール・デコの館 2011年10月6日～10月31日(24日)

2014 平成26年

アーキテクツ／1933／Shirokane 2014年11月22日～12月25日(32日)
内藤礼 信の感情 2014年11月22日～12月25日(32日)

2015 平成27年

幻想絶佳：アール・デコと古典主義 2015年1月17日～4月7日(76日)
マスク展 2015年4月25日～6月30日(63日)
アール・デコの邸宅美術館 2015年7月18日～9月23日(64日)
オットー・クンツリ展 2015年10月10日～12月27日(73日)

2016 平成28年

ガレの庭 2016年1月16日～4月10日(81日／平成27年度中は71日)

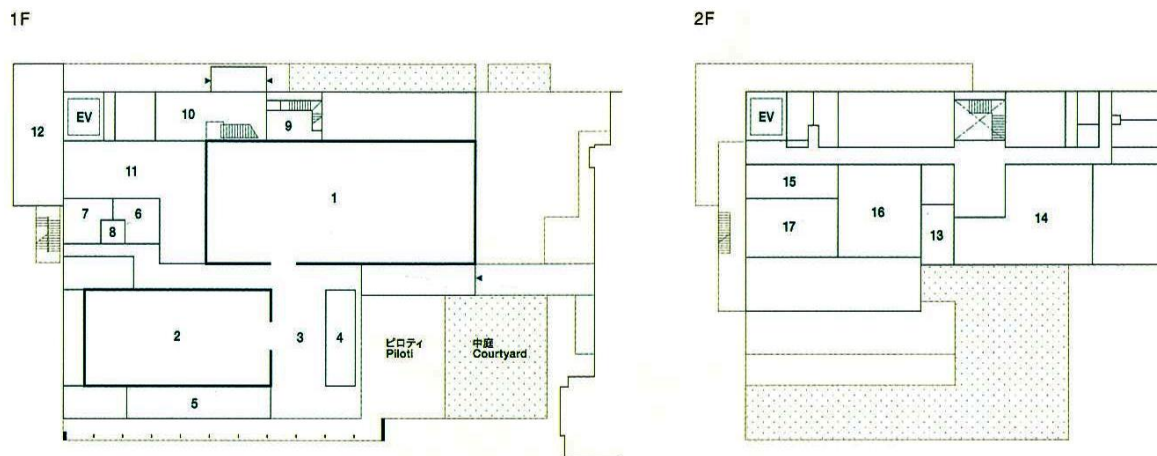
施設配置図



本館（旧朝香宮邸）



新館



東京都庭園美術館 年報 2015

制作・デザイン：有限会社アルカ

編集・発行：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館

発行日：2016年4月22日

〒108-0071 東京都港区白金台5-21-9

Tel : 03-3443-0201

<http://www.teien-art-museum.ne.jp>